

MRI 検査を受けられる方へ

MRI とは

磁気共鳴画像：magnetic resonance imaging の略で、強い磁気を利用し、人体の組織を画像化することを言います。MRI 検査は CT 検査と全く異なり放射線は用いないので、当然、放射線被曝はありません。CT は体の輪切り（横断像）ですが、MRI は縦・横・斜めのあらゆる方向の断面を撮影することが出来ます。MRI 装置は大きな磁石のドームになっており、その中に入って検査をします。検査中は、ガンガンガンという大きな音と振動を感じます。場合によっては耳栓をしていただくこともあります。

検査前の準備

検査は金属ボタン等の無い服装（パジャマ、病衣等）、もしくは検査着に着替えて行います。外来患者さまは、検査当日は着替えやすい服装でいらしてください。MRI 室内は、磁力により金属が MRI 装置に急激に引き込まれ金属類が飛ぶ可能性があり、大変危険です。患者さま本人に当たって怪我をしたり強い磁場の為に火傷を負ったり、機器を損傷する恐れがありますので、安全に検査を行う為に下記の物を絶対に検査室内に持ち込まないでください。

万が一、下記の物を持ち込み、使用不能となりましても、責任は負いかねます。持って来られた方は、MRI 室隣の更衣室にてお預かりいたしますが、貴重品を出来るだけ持参しないでください。

- (1)金属類：時計、メガネ、ベルト、財布、ネックレス、ヘアピン、安全ピン、ピアス、イヤリング、チャック、ブラジャーのホック、コイン等
- (2)磁気カード：駐車券、キャッシュカード、プリペイドカード、クレジットカード、通帳等
- (3)その他：義歯（入れ歯、差し歯等ははずせるもの）、補聴器、カイロ（使い捨てカイロを含む）、万歩計、ヒートテック等、遠赤外線下着、金糸ジャージ
- (4)化粧品（マスカラ、アイシャドー）、携帯電話等の電子機器

MRI 検査を受けるときの注意

- ・ 体内に埋め込んだ機器：特に心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方は、ペースメーカーが誤作動、停止する恐れがありますので、入室禁止です。また、埋め込み式除細動器、人工内耳なども同様です。
- ・ 体内の金属：脳動脈瘤のクリップの一部や各種ステントの一部、可動性義歯は、入室できない物があります。その他に、人工骨頭、金属プレートなどの金属が埋め込まれている方は部位によっては検査が出来ない場合があります。ケガなどで身体の中に、金属が残っている方は注意が必要です。
- ・ 刺青、アートメイク、マスカラ：変色、火傷の報告があり、基本的には検査できません。
- ・ 検査時間は患者さまや検査の目的によって変わります。大体の方は 20 分～40 分位かかります。
- ・ トイレは、子宮、卵巣、膀胱、前立腺などの検査の方以外は、検査前にトイレを必ず済ませておいて下さい。子宮、卵巣、膀胱、前立腺などの検査の方は、検査前 1 時間はトイレを我慢してください。
- ・ 検査中は、身体や頭を動かさずに、リラックスしてください。
- ・ 腹部検査の方以外は全く食事や服薬の制限はありません。腹部の検査の方は、検査前の 1 回の食事はとらないでください。水分は、お茶、紅茶、スポーツドリンクなどは結構です。
- ・ 妊娠中、または妊娠の可能性のある方は必ずお申し出ください。時期によっては検査できない場合があります。

不明な点がございましたら、検査時に担当医または診療放射線技師までお申し出ください。